

大反響につき第2弾!!

弊社通販サイトにて、
無料サンプル動画公開中!

ジャパンライム 音楽授業 検索



わくわく

音楽授業ドキュメント!! 2

in 筑波大学附属小学校

音楽づくり編

筑波大学附属小学校の3人のプロフェッショナルが
リアルな授業風景を公開し、反響を呼んでいる
「わくわく☆音楽授業ドキュメント」。

第2弾では、全国の先生方が特に課題意識を持つ
「音楽づくり」に特化した授業を展開!

音楽づくりの難しさとは?

多くの先生方は、なぜ音楽づくりが苦手なのか?

押さえるべきポイントとは?

どうすればうまくいくのか?

…などなど、授業や鼎談の中で音楽づくりの核心にとことん切り込んでいきます。

ゴールイメージの見えにくい音楽づくりの授業ですが、
授業のねらいを焦点化し、誰でも取り組める条件を設定することで、
子どもたちの自由な発想や創造的な表現が生み出されていく様子をご覧ください!



商品番号 ▶ M68-S

全3巻 セット特価 15,000円+税 各巻 6,000円+税 (送料別)

各巻の詳細は裏面へ

子どもたちの自由な発想を創作活動に結びつける
音楽づくりの「条件」とは?

高倉先生「音楽づくりが苦手とおっしゃる先生が多いのはなぜでしょうか。一つは音楽づくりにはどんなタイプがあるのか、教科書を見ても分からないという点ですね」

平野先生「色々なタイプの分け方があると思うのですが、私の中では明確に三つの素材に分けています。一つ目はリズムに関わるもの、次は旋律に関わるもの、そして音楽素材そのものを楽しむもの。これは例えば一人一人がフリレをしたたり、拍や拍子感から少し離れたところで、音そのものの素材を感じながら表現していくイメージですね」

中島先生「そもそも音楽づくりが苦手なのは、『作曲』というイメージを持っているからだと思うんです。作曲となると色々な知識がなければできない。大人

授業を終えた3人が本音で語る！



筑波大学附属小学校 教諭

中島 寿 × 平野 次郎 × 高倉 弘光

★続きは、特典映像として各巻に特別収録。深く熱いトークが弾みます！

「いかなと思っっています」
教師一人一人の中に、色々なタイプの音楽づくりがあってもいいんじゃないかなと思っっています」

でもできないのに、ましてやそれを教えるなんてとてできない！と思っってしまう。でも僕は「音で楽しむこと自体が音楽づくり」だと思っですね。音を楽しむということは、例えばリズムや旋律、音楽素材そのものを楽しむ、この曲は旋律が面白いからそこを楽しむ、強弱を楽しむ、など音楽の要素一つ一つが当てはまると思っですね」

高倉先生「音楽の要素である強弱や旋律やリズム、平野先生が授業で行った仕組みの中であなをししたり、重ねたり、そういうことを楽しむこと自体が音楽づくりではないかと。これは大きな提案ですね。先ほど中島先生が言われた『作曲が難しい』というのも、メロディー、リズム、ハーモニーが揃っっていて、何拍子で何小節で、こうなると和声進行の問題が出てきたり、難しくなっってしまうますよね。でもリズムだけのものがあってもいいし、音楽素材そのものを楽しみながら、共通事項や音楽の要素、仕組みを絡ませながらやってみてもいい。今日3人の授業を見比べていて、音楽授業の指針となるようなマップを作っみたいと思っしました。音楽づくりを系統立ててまとめることは価値があることです。教師一人一人の中に、色々なタイプの音楽づくりがあってもいいんじゃないかなと思っっています」

音楽づくりを通して創造力 仲間と一緒に作り上げる力を育てる！

わくわく☆
音楽授業ドキュメント!! 2
in 筑波大学附属小学校

音楽づくり編

M68-1

【3年生の授業】

平野次郎先生の「リズムを重ねて30秒の音楽をつくろう」



平野先生の授業では、「つなげる」「まねする」「重ねる」という3つのことを意識し、打楽器を使ってリズムを重ね、まとまりのある音楽をつくっていきます。授業のねらいに迫るために、教師側はどういう関わりや声かけをしていけばいいのか…。是非ご注目ください！

■ リズムを重ねて30秒の音楽をつくろう

- *4つの打楽器を分担する
- *先生の合図で様々な音を出す
- *1人1発ずつ音を出す
- *1人1小節（4拍分）のリズム即興
- *4人でリズムを重ねる（お話し）
- *音楽のおわり方を考える（お話し）
- *音楽の構成を確認する
- *グループに分かれて音楽をつくる *中間発表

■ 授業の解説

- *授業のねらい *4つの打楽器
- *常時活動となる「音遊び」と「即興表現」
- *ねらいに迫るための言葉のかけ方 など

■ リアル特別鼎談①

「音楽づくりの素材と要素」
「音楽の教科書について」

85分

M68-2

【5年生の授業】

高倉弘光先生の
「黒鍵の音楽づくりから
『剣の舞』の鑑賞へ」



音楽づくりを鑑賞授業に展開させる授業を紹介。まずは黒鍵による五音音階に着目させ、マリンバを使った即興演奏で音楽を構成する要素を体感していきます。子どもたちは、音楽づくりで扱った『五音音階』や『合の手』が曲の中にも存在することを理解していきます。

■ 黒鍵による音楽づくり

- *鍵盤はどのように並んでいる？
- *黒鍵（五音音階）を使った即興演奏

■ 『剣の舞』の鑑賞

- *「合の手」を聴き取る
- *「合の手」を切り口に聴き進める
- *「五音音階」を切り口に全曲通して聴く
- *「五音音階」をCDと合わせて演奏する

■ 授業の解説

■ リアル特別鼎談②

「音楽づくりの難しさについて」
「音楽づくりの『条件』『枠組み』について」

♪『剣の舞』（作曲：アラム・ハチャトゥリアン）

88分

M68-3

【6年生の授業】

中島寿先生の「『さくらさくら』の音階で音楽（旋律）をつくろう」



中島先生の授業では、『さくらさくら』の楽曲を題材に、五音音階を使った旋律をつくっていきます。ハードルが高い旋律ある音楽づくりも、『音を飛ばさず、隣の音にいくこと』など、誰でもできる条件を決め、ねらいを焦点化することで、子どもたちが取り組みやすくなります。

■ 「さくらさくら」の音階で音楽をつくろう

- *「さくらさくら」の音階は《ミ・ファ・ラ・シ・ド》
- *メロディーをつくるための2つの条件
- *1人でメロディーをつくる [リズムは固定]
- *2人でメロディーをつくる [問いと答え]
- *低音（ミ・ラ）にのってペアでメロディーをつくる
- *2人でメロディーをつなぐ+重ねる [リズムは自由]

■ 授業の解説

- *音階を使った旋律づくり *実際の授業について

■ リアル特別鼎談③

「音楽づくりの授業で大切にしていること」
「音楽づくりの真価とは？」

♪『さくらさくら』（作詞・作曲：日本古謡）

72分